




※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



 夜間・休日の適正受診を訴える

9月23日、市保健相談センターで「救急医療講演会」が開催され、約100人が参加しました。講演会では、鹿屋市医師会副会長の前田稔廣医師が救急医療の現状について講演。また、鹿児島大学大学院の河野嘉文教授が小児救急医療について講演を行い、家庭等でみられる症例とその理由を説明し、夜間・休日の適正受診を訴えました。



 秋の全国交通安全運動で交通安全を呼びかける

9月21日、秋の全国交通安全運動にあわせ、市役所駐車場で交通死亡事故ゼロを目指して出発式が行われました。出発式では、鹿屋警察署や交通安全協会など、市の交通安全に関わる関係機関から約200人が参加し、交通事故の撲滅に向けた取組をあらためて決意しました。式後は、参加者や鹿屋幼稚園の園児が市内の交差点で、停車した運転手に「死亡事故を無くすために安全運転に努めてください」と声をかけながら、お茶やチラシを配布し、交通安全の呼びかけを行いました。



 輝北 輝北地区敬老行事で長寿を祝う

9月16日・17日・23日、輝北地区の旧小学校区でそれぞれ「敬老行事」が開催されました。当日は、台風の影響で日程の変更・中止をした校区もありましたが、招待された高齢者が参加しての記念式典のほか、様々な催しが行われました。百引・市成校区では地域住民が参加しての運動会、平南校区ではカラオケや演芸が行われました。盛り上がった各会場では、参加者が交流を図りながら高齢者の健康と長寿を祝いました。



 長寿を祝い健康を願う

9月14日、星塚敬愛園で「敬老祝賀会」が開催されました。当日は、入所者やその家族、招待者約180人が出席し、80歳以上の高齢者に記念品などが贈呈されました。また、式典の後には、星塚保育園の園児による歌の披露や高齢者会などによる演芸が披露され、入所者の長寿を祝うとともに、今後ますますの健康を願いながら親睦を深めました。



 「肝属地区障がい者虐待防止センター」が開所

10月1日、市社会福祉会館で実施主体である2市4町の市町長等が出席し「肝属地区障がい者虐待防止センター」の開所式が行われました。同所は、身体障がい、知的障がい・障がい児、精神障がいに関し7人の相談体制で、養護者や施設従事者、使用者等による障がい者への虐待に関する通報窓口として活動します。



 串良 例年、好評のオレンジパークが開園

9月29日、串良町有里のみかん園「鹿屋市オレンジパーク串良」が開園しました。同パークには、温州みかんやネーブルなど約1,200本が植えられています。開園式には、小雨が降るなか、正徳保育園の園児15人が出席。テープカットのあと、みかん狩りを楽しみました。開園期間は、みかんがなくなり次第閉園となります。



 鹿屋 小学生力士奮闘

9月22日、野里町の小鳥神社境内で「第60回野里消防大相撲大会」が開催されました。この大会は、五穀豊穰や青少年の健全育成などを願って行われている野里地区の伝統行事。当日は、小学生や一般力士による熱戦が繰り広げられ、特に、小学生のちびっこ力士の真剣な表情で相撲をとる姿には大きな歓声があがっていました。



 シルバー文化作品展の洋画部門で受賞


9月21日、第21回シルバー文化作品展において最高賞である「鹿児島県知事賞」を受賞した蓑田勝子さん、「鹿児島県社会福祉協議会会長賞」を受賞した久保千枝子さんが市役所を表敬訪問しました。蓑田さんは「パリの街角」、久保さんは「トルソーと花と」が受賞。嶋田市長は「今後も素敵な作品を期待しています」とお祝いを述べました。



 教職員の不祥事の再発防止に向けた取組

9月19日、市役所で教職員の不祥事の再発防止を目的に「鹿屋市小中学校長研修会」を開催しました。当日は、教職員が不祥事を起こしたことを想定して、家族に経緯を説明する場面を疑似体験。参加者は、不祥事を自分のこととして捉え、実感的理解を深めました。この体験型研修会は、今後、各学校でも行う予定です。



 地域福祉の向上のため車椅子7台を寄贈

9月18日、かのや大黒ランドホテル取引業者会から鹿屋市に車椅子7台が寄贈されました。同会は、社会福祉貢献活動の一環としてチャリティバザーで得た益金を活用して寄贈したものです。嶋田市長は「福祉向上のためにありがたく使用させていただきます」と謝辞を述べました。寄贈された車椅子は、市内の社会福祉施設などで活用される予定です。